

=大阪私学 教育情報化研究会 プロジェクト=

発表者:羽衣学園高等学校 米田謙三
大阪私学教育情報化研究会事務局
大阪府高等学校情報科研究会幹事
2009年8月24日

情報関連の授業公開キャラバン

=大阪私学教育情報化研究会プロジェクト=



2001.9 ~ 第1 ステージ

フェイス to フェイス で
何でも言える関係作りからスタート!

第1ステージ 「フェイス to フェイス」で何でも言える関係づくり

- ▶情報AIやリス
テックの報告書作
成!
- ▶情報AI「フ
リソフト」を利用したマ
ルチメディア学
習!
- ▶情報検定Ⅲ「落
下運動のシミュレ
ーション」
- ▶英語選択「イン
ターネットを活用し
た個別学習」
- ▶講演会&シンポジウ
ム

第1回〜講演会&シンポジウムまで、「教育・ICT」に関する教育関係者によるネットワークづくり、平成13年度地域企業「インターネット教育利用のための地域活動支援」の支援を受けました。

2002.1 ~ 第2 ステージ

ネット上の意見交換をスタート! 中学と高校の連携!
(バーチャルブレインストーミングボードの活用)

第2ステージ 「ネット上の意見交換」をとり入れた授業づくり (2002年1月〜7月)

- ▶技術・家庭「ク
ループ研究」一
手作り弁当を作
ろう!!」
- ▶技術・家庭「考
えるし、ポート発表
会をマスターしよ
う!」
- ▶選択情報「表
のつくり方
をマスターしよう
自分史の
作成」
- ▶技術・家庭「食
生活について考
えよう」

第2回〜講演会&シンポジウムまで、「教育・ICT」に関する教育関係者によるネットワークづくり、平成13年度地域企業「インターネット教育利用のための地域活動支援」の支援を受けました。

2004.1 ~ 第3 ステージ

教科「情報」と「総合的な学習の時間」のあり方!

第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
2003年7月4日	2003年10月17日	2003年10月24日	2003年10月30日	2003年11月4日
講師:「情報科の授業とICT活用」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」
上野高等学校 中野 浩二先生(情報)	京都女子高等学校 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)

2005.1 ~

「学力の変化・向上」
と「教育の情報化!」

第29回	第30回	第31回	第32回	第33回
2004年12月10日	2005年1月20日	2005年1月31日	2005年2月11日	2005年2月18日
講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」	講師:「Web活用授業」
京都府立総合技術学院 中野 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)	京都府立総合技術学院 藤田 浩二先生(情報)

参考：出前キャラバン

本当に知らない相手

異質な相手とつながり、
ぶつかりあい
つながりを認識するよさ！！

対面の必要性・本物の相手

キャラバンの目的は？

- 教科「情報」の授業イメージの模索
 - 現職教員が情報を担当
(つかむ・盗む・GOOD PRACTICE共有)
- 教員の情報化トレーニング
 - 情報活用能力の育成

冊子の出版

日本文教出版

<http://www.nichibun-g.co.jp>



ICTプロジェクト

=大阪私学教育情報化研究会プロジェクト=



情報を記憶・保持することより

多くの情報から必要なものを選び

具体的な問題解決に役立てる能力

「知識基盤社会」の「生きる力」

知識基盤社会に求められる能力

変化に対応する力

● ICTプロジェクト
(International Communication Project)

『高校生の情報化と国際化に対応できる
コミュニケーション能力育成に関する実証研究』

2003年度からスタート

プレゼンテーション

- 1) プレゼンのためのプレゼンの練習でない。
- 2) コミュニケーション能力の開発が前提

方法 参加校から数名ずつの生徒を対象
4回程度のセッション

プレゼンテーションの総合的な技能の向上を目指す。
「考える, まとめる, 話す, 見せる, 伝える」

6月～ 第1ステージ

フェイス to フェイス で
何でも言える関係作りからスタート!

- 名刺交換
恒例の質問
「なぜみなさんはここにいる？」

「発表の技術を身につけたい！」
「何か一つでも学べたらと思って。」



7月 第2ステージ 8月 第3ステージ

個人 からチーム で
産業界や大学生とも連携して多彩な活動!

- 学校紹介、チーム学習
プレゼンは機器だけでない。
- 「自分たちの思い、考えを伝えることってむずかしい！」
「聞く姿勢、参加態度の重要性。」



11月～ 最終ステージ プレゼン甲子園

1部 情報テーマの飛び込み型
2部 お題発表に基づき学校対抗!

- 最近のお題
 - 10年後の大阪再生案
 - あなたの学校をうりこむ
 - 世の中がよくなる
法律を一つ作るとしたら



冊子の出版 実教出版

東京 プレゼンピックと交流
毎年1月に実施。ビデオ会議で交流
プレゼン甲子園の1部は 同じテーマに設定!!!
今年も CM作成なども実施している。。。。。。
地域を越えた連携も ポイント

教科「情報」における 産業協力情報授業

=大阪私学教育情報化研究会プロジェクト=



テーマ

●教科「情報」の充実と課題

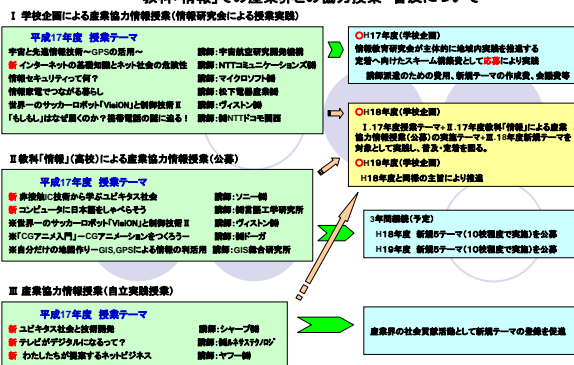
●社会人講師による

産業協力情報授業の効果

研究目的・活動内容

1. 産業界講師による
産業協力情報授業の実施
2. 授業参観の促進
3. 産業界講師による
教員向けワークショップの実施
4. 産業協力情報授業の普及にむけた研究

教科「情報」での産業界との協力授業 普及について



平成19年度 授業テーマ

NO	テーマ名	申請者(企業・団体名)
1	「世界のサッカーロボット「VISION」と制御技術Ⅳ」	特定非営利活動法人マ礼子 メディア・エデュケーション・フォーラム 大阪府立大正高校 他3校
2	「安全・安心なネット生活を送るためのネットワークセキュリティ」	特定非営利活動法人なら情報セキュリティ総合研究所
3	「ユビキタス社会を支える無線ネットワークの有用性～安心・安全な無線ネットワークの活用を考える～」	株式会社内田洋行 神奈川総合産業高校 他1校
4	「生徒が公開するWebコンテンツの作成技法と著作権処理」に関する授業	特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会 都立板橋有徳高校 他1校
5	「私たちの町の空間情報、昔と今」	内閣府認証特定非営利活動法人地域自立ソフトウェア 連携機構

産業界講師と授業テーマ

- ヴィストン株式会社(大阪市)
『世界のサッカーロボット「Vision」と制御技術Ⅳ』



教科「情報」の問題点

- 情報科教員には最先端技術が不足しがち？
- 最先端の機器が使えない？
- 産業界との連携がない？
- 他校の授業見学ができない？

産業協力情報授業

高等学校の教科「情報」において

最先端技術等にかかわる

産業界の方と協力し

教員では**出来ない**

最先端授業の実施

授業者

- 企業とNPO法人
→ 企業色が薄れる
- 企業と企業 → 多様性
- NPO法人のみ ● 企業のみ

現場教員の研究会のサポート

授業成立の肝

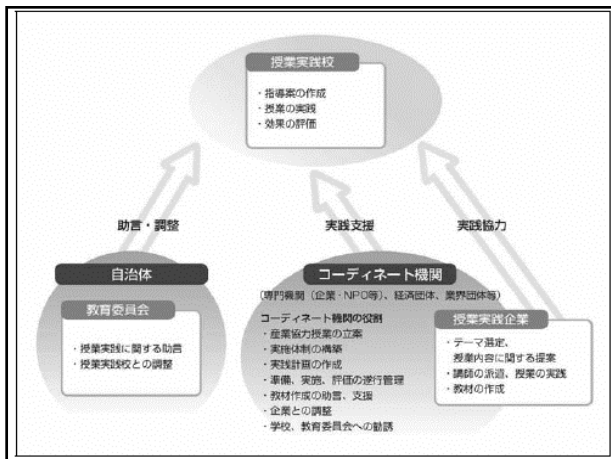
- インパクトのある導入
- 演習中心の学習活動
- 体験の背景にある専門的知識
- 体験→振り返り
→ 理論的背景への気づき
→ 確認・興味の発展の連鎖

今後の課題

- 産業協力情報授業の実施の確定時期
- 実施クラス
- 産業界の協力

研究の普及

- 大阪私学教育情報化研究会
大阪府高等学校情報教育研究会を通して
100名を超える方が授業参観された
- 産業界と高等学校の
ネットワークが構築された
- 教員向けワークショップを実施し
次年度以降も実施を可能にすることができた



管理職研修プロジェクト

=大阪私学教育情報化研究会プロジェクト=

- ### 人的ネットワークを広げるには！
- 対面のコミュニケーション
 - (会議・研究会・講習会・懇親会)
 - ネットワークでコミュニケーション
 - (メール・電子掲示板・TV会議)

- ### 研究会活動 もう少し補足？
- 単に授業を見せ合うだけではない
 - 教科「情報」に限らない
 - 他教科でのIT活用
 - 高校の「情報」のあり方と役目
 - 教員間ネットワーク
 - 指導法、課題のコラボレーション

身の回りの課題を発見して解決

生徒

教科「情報」の授業イメージを模索する
という差し迫った課題

情報機器を使いながら、活動を実施して
お互いに情報教育の概念の共有化

先生

情報活用能力の育成

「情報」関連の授業公開キャラバン

www.osaka-sigaku.net

おおさか私学ネット

2009年度 これからもお楽しみに！